

委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

建設

12月13日に議案2件、請願1件の審査を行いました。

令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(第6号)
〔香山緑地整備事業〕

委員 今回、詳細な形で審査をされたということで、今後、社会情勢の変化等があるかと思うが、基本的に現時点ではもうこれ以上増額はないと考えてよいか。
公園緑地課長 工事発注はこの金額で考えています。

令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(第6号)
〔環境衛生費〕

委員 都の補助、アライグマ、ハクビシン駆除の補助金だが、ようやくできた制度で本当に助かっている方も多いかと思うが、22年度の利用状況はいかがか。
環境共生課長 22年度11月までの実績値ですが、22年度は21年に比べて少し減っている状況です。これからまだ12月、1月、2月、3月とあるんですが、19年度が一番多くて、少しずつ減ってきている状態です。

委員 割と被害が減ってきているという状況か。
環境共生課長 そのとおりです。

委員 困っている方は大体補助金を活用できている状況ということか。
環境共生課長 困っている

方というか、事業がそもそも家の屋根裏とかにアライグマとかハクビシンがいるということ、外を歩いているので駆除してほしいというのは、事業の対象ではありませんので、その辺の違いがあると思います。

令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(第6号)
〔道路維持費〕

委員 電気料金の高騰などの影響ということだが、どれぐらいの割合で、あとLED化など街路灯の改修を回っているかと思うが、その効果はいかがか。
道路維持課長 割合というよりも、電気料金に含まれる燃料調整費という費用があり、その部分について高騰が続いており、それを補填したいということとで補正するものです。LED化の効果ですが、効果は十分得られており、それ以上に燃料費の高騰ということとで予想以上の費用がかかっているところとです。

総務

12月14日に議案12件の審査を行いました。

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い整備する議案について
〔第102号議案から第106号議案〕

委員 地方自治体が保有することが想定される情報で、特に配慮が必要な情報として、LGBTに関する事項、生活

保護の受給、一定の地域の出身である事実等が考えられるとされているが、市はパートナーシップ導入も検討しているということ、これらの要配慮個人情報指定されるか。
市情報課長 現時点では、条例で要配慮個人情報として規定をしないという考え方は、国が出した最終報告には、特に配慮が必要と考えられるものとして、LGBTに関する事項、生活保護の受給、一定の地域の出身である事実等が考えられるとされているが、市はパートナーシップ導入も検討しているということ、これらの要配慮個人情報指定されるか。

委員 改正後の個人情報保護法では、個人情報とは生存する個人に関する情報として運用していきます。多いと思うが、市ではどのような規定になっているのか。
市情報課長 現行は、生存する個人と生存しない個人を個人情報保護法として区別していませんが、改正後の個人情報保護法では、個人情報とは生存する個人に関する情報として運用していきます。

委員 毎年、12月補正でも生活保護費というものは少し増額補正をする場合もあるが、今回の場合は金額的にどうか見込みを1億円以上超えているが、多いということか。
生活保護課長 今回については、それぞれ当初予算を組みますときには、前年ですとか、その前の年などの傾向を見て、増減率、最近でいえば22年度なら22年度の見込みを立てるわけですが、年の途中で実績を見ながら今後の増加率を勘案すると、足りなくなってくるという繰り返しがあります。割合として極端に多いかということ、それほどでもないかというところ、それほどのものではないかと思えますが、結果として、当初の見込みよりもかかってしまっているというのが現状です。
委員 数字的な部分では、人数であったり、世帯の関係

健康福祉

12月14日に議案1件の審査を行いました。

令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(第6号)
〔生活支援費〕

委員 給付金であったり、貸付金などが触れられたが、その辺の市での対応以外の外部環境というか、その変化というものがあってということか。
生活支援課長 外部変化ということでも申し上げると、社会福祉協議会が行っている各種の貸付けがありまして、それらは金額も決まっていることと条件があること、それから回数などの制限がありまして直したいというようなお話を相談経過の中ではどうかがあります。生活保護法は他法優先ですので、ほかに活用できる制度がありましたら、そちらをまずご案内をした上で、それでもやはり次の方策が見当たらないというような場合には、私どものほうで具体的なご相談を受けることになっていきます。

委員 保育・幼稚園の一時保育等の対象が増加したということだが、どれくらいか。
保育・幼稚園課長 21年度ですが、3万4701人の実績で、22年度の現在の決算見込みが4万6785人となり、約1万2000人の増を見込んだことによる補正予算になります。
委員 21年は利用控えがあった。現在の約4万6000人は、20年度、これまでとほぼ同程度ということか。
保育・幼稚園課長 21年度がかなり減少したところがありますので、いわゆるコロナ前ですと、そういった部分については、もう少し多い人数ということではあります。なので、完全に一時預かりとかが戻ったということではなく、やはり21年度と比較すると、22年度の利用が伸びてきたような現状です。

文教社会

11月30日、12月13日に議案3件、請願1件の審査を行いました。

令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(第6号)
〔保育・幼稚園費〕

委員 保育・幼稚園の一時保育等の対象が増加したということだが、どれくらいか。
保育・幼稚園課長 21年度ですが、3万4701人の実績で、22年度の現在の決算見込みが4万6785人となり、約1万2000人の増を見込んだことによる補正予算になります。

委員 21年は利用控えがあった。現在の約4万6000人は、20年度、これまでとほぼ同程度ということか。
保育・幼稚園課長 21年度がかなり減少したところがありますので、いわゆるコロナ前ですと、そういった部分については、もう少し多い人数ということではあります。なので、完全に一時預かりとかが戻ったということではなく、やはり21年度と比較すると、22年度の利用が伸びてきたような現状です。

委員会提出議案

町田市議会委員会条例の一部を改正する条例

常任委員会の所管を見直し、防災安全部を文教社会常任委員会から総務常任委員会の所管に移すことに伴い、所要の改正をするものです。
本議案は12月23日の本会議において、全員一致をもって可決されました。

第17期町田市議会改革調査特別委員会を開催

11月22日、30日、12月20日に開催され、次の付議事項について審査が行われました。

- ①議員の調査活動等に関する事項
 - ②議会の権能・機能強化に関する事項
 - ③議会の情報提供に関する事項
- の調査・検討